

西小は 大きな 家族

Family

～校長のたわいもない独り言・その2～

令和元年9月9日(月) No.26

発行人

シャインマスカットって一房
2000円もする(@_@)の川崎先生

☆子どもに普段通りを期待しながら、自分が普段通りにできませんでした☆

何のためにファミリー書いているのか？子ども達を笑顔にしたい、その笑顔を伝えたい、みんなみんな笑顔にしたい。そこには何の後ろめたい事などないはず。それがブレちゃだめだ。西小を知らない遠くの人が何を言おうが、今ここにいる子どもの笑顔の方が何百倍も大切なはずだ。だから今日からファミリー再開します。目の前にいる子どもたちの笑顔こそが何よりも宝物。決心・・・強く生きる。負けない。やばい、ウルウルする。

■生徒昇降口にお風呂が・・・■

何だろう？という目で見ると子どもたち。まあ普通こんなところにお風呂はないよね。〇〇じゃね？◇◇だよ！といろんな声が聞こえる。実はこれ「熱中症対策のお風呂」でした。もしも運動会の練習やグラウンドでの体育などで、熱中症になって意識がもうろうとなってしまう場合、服を着たまま水ぶろに入って体を冷やすのが一番良い方法だから。水ぶろに入って頭から水をかけてガンガンに冷やす。もちろん、こうならないように、水分を十分に取ったり、休憩時間を多くしたり、帽子をかぶったりしているけど、それでも”もしも”の時のための秘密兵器です。使わないことが一番だけど、有ると無いとでは安心感が全然違う。(これ、中野の「建築の入倉」さんが寄付してくれました。新品にもかかわらず、子どもたちの安全のためにというお気持ち、心から感謝<m(_)_m>です。)

■蚊に食われる(吸われる?刺される?)■

3年生と緑の広場付近を掃除をしていると、特に女の子たちが蚊に食われる食われる(+o+)。ハーフパンツで素足が出ているので、蚊からすれば絶好のごちそうか。しかし、次から次へと食われるからかわいそう。まあ確かに大人の川崎の血(アルコール入)よりは、子どもの新鮮な血の方が美味しいのは分からないでもないけど・・・でも、蚊も血を吸うのは産卵前のメスだけだという。そうか、緑の広場の池に卵を産むために蚊がたくさんいるんだ(@_@;)。と、次の日には長ズボンはいて来た女の子たち。それ正解です(^)v

■4年生星空教室 8/26(月) PM7:30~■

朝から微妙な天気。星空って晴天であればあるほどいいので、朝から雲が多いと心配で心配で仕方ない。特に時田 t は気が気じゃない。一日中天気が～、雲があ～、うわあ～、とか言っていました。

さて夜。星も見えるけど雲も多い。そんな中で、築野 t と志村 t が協力して望遠鏡をセッティングして星空教室開始。まずは土星。見えましたよ\(^o^)/。この土星の輪が肉眼で見えるって結構感動もの。子どもだけでなく保護者からも歓声があがる。全員が見終わったら、なんと雲が広がってきて全く何も見えなくなりました。運がいいんだか悪いんだかわからないけど、土星が見えたから良しとしましょう。

つぎは秋。今度は月の観察ですね。みんなでウサギを探しましょうね(^_-)